

オアシス新聞

第十七号

冬は野鳥観察に出かけてみよう!

美しかった紅葉も、散ってしまうと枯れ木状態。あれだけ心躍った後だけに、なんだかさみしいですね。でも葉っぱが落ちて見通しがよくなったこの季節は、絶好の野鳥観察シーズンと言えます。これまでは木の葉や草が邪魔をして確認できなかった野鳥たちが、その姿を見つけやすくなるからです。またこれまで涼しい地域で生活していた鳥たちが、比較的暖かい平地へと移動してくるので、この季節にしか見られない鳥たちがたくさんやってきます。

鳥は季節によって移動をする種が多く、出現する時期によって5種類に分類されています。暖かくなると東南アジアなどから繁殖のために渡ってくる夏鳥。ツバメが特に有名です。シベリアなどから越冬のために渡ってくる冬鳥。ハクチョウやマガモ、ツグミやシヨウビタキといったものがあります。日本よりも南及び北で生活し、渡りの最中に休憩地として春や秋に日本へ立ち寄る旅鳥。タシギやエゾビタキなどがいますが、長期間居つかわけではないので、ちょっとなじみの薄いものが多いと思います。それから日本国内で季節によって標高の高い涼しい所と温暖な平地を移動する漂鳥。ウグイスやモズなどはなじみの鳥ですね。そして一年中同じ環境の場所で生活する留鳥。カラス、スズメ、ムクドリといった市街地でも見られるもっとも身近な鳥から、緑の多い公園などで見られるシジュウカラやコゲラ、メジロ、キジバトなどがいます。

今の季節、この辺りでは冬鳥と漂鳥と留鳥が見られるので、観察できる種類も豊富になります。繁殖期ではないのにぎやかなさえずりは聞かえませんが、仲よくエサをついばむ姿をじっくりと見ることが出来ますよ。寒いけど公園へ野鳥観察に出かけてみましょう!

